

1. 4月全国行事  
1) 世界保健デー 4月7日
2. 安全・衛生・防災の心得 : 3月、年度末の安全衛生管理の要点
3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)
4. 他社 事故・災害事例から : フォークリフトの点検中ひかれて死亡
5. ヒヤリハット事例 : 台車に載せていた薬品が荷崩れを起こした

## 2. 安全・衛生・防災の心得 : 3月、年度末の安全衛生管理の要点

～非正常作業、新入・新年度対策、心身の健康～

・年度末の3月は、職場では事業の納期や棚卸し、決算、人事異動等で作業のテンポが乱れ、また、予想外の作業や仕事が飛び込んでくるなど、非正常作業が増え、事故や災害が発生しやすくなります。

また、今年はとくに、夏のオリンピック・パラリンピックや新型コロナウイルスによる騒動が、さまざまな形で事業活動に影響を及ぼしてきており、内外で例年とは異なった状況になっています。

次項について特段の注意と管理が必要です。

①**多くなる非正常作業に対しては** 関係者と作業方法・作業手順等を十分確認する。

作業前、作業中は常にKYK(危険予知活動)やリスクアセスメントを行う。また、保護具、工具・器具、機械等の作業前点検は確実にを行う。

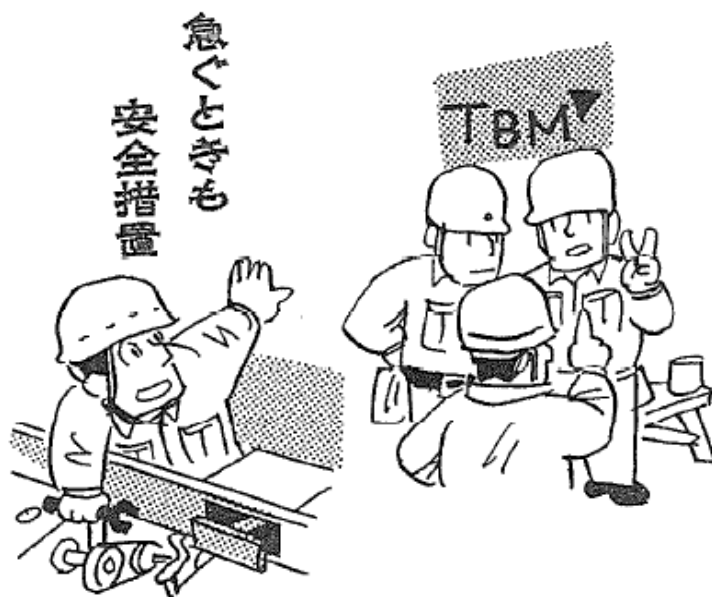
②**4月から配属されてくる新人等に対しては** 協力会社の社員を含めて、安全衛生

の決まりなどは、初めの段階から厳しくしつけることが大切。そのためには、受け入れる私たちの態度が重要です。安全衛生規定や作業手順、4S(整理・整頓・清掃・清潔)のルール等の見直を行って問題のないようにしておく。

③**3月は気象の変化が激しい** 凍結や積雪等、車の運転や職場の設備等で思わぬ寒冷の

トラブルが予測され油断禁物です。また、心身の健康状態も、この時期に悪化しがちです。

皆で健康管理に十分気をつける必要があります。



3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

●平塚第二工場防錆工場

・処理槽の上部のクレーンから電源ケーブルを引き、地面を這わせない工夫がされていた



●古河工場

・作業場内の状況を確認できるよう窓付き自動ドアを設置し、安全面を考慮していた



4. 他社 事故・災害事例から : フォークリフトの点検中ひかれて死亡

～第三者が確認しないでリフトを動かした～

(1)災害のあらまし

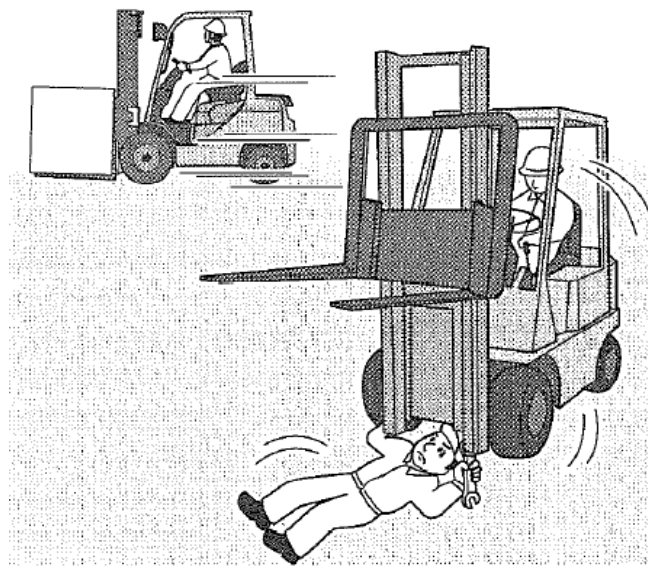
・現場出張でフォークリフトの修理・点検を行っていた作業員(男性35歳、経験10年)が、リフトの前面下部に潜り込んで点検していたところ、点検中と知らされていない常駐関連会社の作業員がリフトに乗車し、エンジンを始動して発進させたため、被災者がリフトにひかれ死亡しました。

(2)災害の主な原因

- ①修理中であるにもかかわらず、エンジンキーを入れたままであったこと。
- ②修理を行っていた箇所に立入禁止等の警戒標示などを設置していなかったこと。
- ③フォークリフトを発進させる際に周囲(死角部分)をよく確認しなかったこと。
- ④当日の作業を開始する前に、業者を交えて注意事項等の周知が図れなかったこと、など。

(3)同種災害の防止対策 例

- ①フォークリフトの運転以外では、起動エンジンキーを抜く等、所定の管理を徹底する。
- ②フォークリフト等の点検・修理を行う場合は、所定の場所を定めて行き、移動できない場合は警戒標識等を設置して行う。
- ③フォークリフト等の起動時は、前後・左右・下部まで十分に確認するよう習慣化する。
- ④業者等を交えて作業が行われている場合は、作業前に合同ミーティングや連絡・調整を十分行う、など。



5. ヒヤリハット事例

・事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	工場内で運搬中
どこで	薬品置き場付近で
何をしている時に	台車で薬品を運搬中、声を掛けられたので、その場に止まったら
どうなった	台車に載せていた薬品が荷崩れを起こし、倒れてしまった

以上